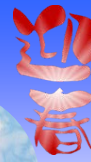


うるおい木曾



Vol. 66

2017・1月

水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

発行：木曾川用水総合管理所
〒495-0036

愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1

TEL 0587-97-3710(代表)

FAX 0587-97-1482

ホームページアドレス

<http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa>

東海三県を水で結ぶー木曾川用水

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



新年、明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は、降雨に恵まれ、木曾川の流況も比較的安定し、安定した水運用が出来た年でありました。

特に9月の雨が多く、9月21日には木曾川大堰地点で4, 200m³/s を超す洪水となりました。

幸い、この地域については大きな災害とはなりませんでしたが、丁度稲刈りの時期を迎えた頃に雨続きとなり、収穫が遅れた状況でした。

右岸地区の木曾川右岸緊急改築事業につきましては、平成27年12月に認可を頂き工事の設計、工事発注と作業を進め、平成28年10月からは現場において工事を始めさせていただいております。

11月には関係する皆様にお集まりいただき、起工式を開催させていただきました。職員一同改めて気を引き締めて事業を進めていく責任を痛感したところです。

濃尾第二地区においても支線水路、揚水機場の老朽化、機能低下への対応として保全管理事業による工事に着手させていただいております。

皆様のご支援を得て、計画的に施設の整備を進めてまいりたいと考えております。

防災業務としては、平成28度の防災態勢は、風水害対応が198日間、風水害対応日数は概ね例年通りではありますが、9月には4, 000m³/s を超す大出水となっています。

また、防災に関しては月1回の防災訓練の実施、施設の老朽化等を踏まえた土木・電気・機械設備の点検・整備に努め、障害等のトラブル発生には適時対応してまいりました。



木曾川用水総合管理所
所長 坂野 一平

私どもは、引き続き、法令を遵守し、業務改善とコスト縮減に取り組みながら用水を安定供給してまいります。

関係各位の皆様方には何かとご支援ご協力をお願いすることになりますがどうぞよろしくお願いいたします。

今年が皆様方にとって良い年であることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



木曾川右岸緊急改築事業の工事が本格的に始まりました！

改築事業の目的

木曾川右岸緊急改築事業は、平成27年12月に事業実施計画の認可を受け、平成32年度までの6年間で、総事業費45億円をもって進めていくものです。

木曾川右岸施設は、造成後、30年以上経過し、経年的な施設の老朽化が進み、プレストレストコンクリート管(PC管)の劣化による突発的な破裂や管継手部からの漏水が発生し、周辺農地への浸水等の被害が生じました。

このため、災害を未然に防止する観点から、調査によるPC管健全度評価の見直しを行うとともに、幹線導水路等のトンネル部でも覆工コンクリート背面空洞を確認しました。

今回の事業では、新たに確認できた劣化部分に対し緊急対策を実施することとし、これにより、更なる用水の安定供給と安全な施設管理の確保、向上を図るものです。

今年度、工事は非かんがい期から実施しています。関係する地域の皆様には工事中、ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解とご協力をお願いします。



突発的な出水



破裂したPC管



撤去したPC管



搬入された新管(ダクタイル鋳鉄管)



新管の設置

起工式を実施

11月2日、改築事業の本格的な着工に先立ち、岐阜県加茂郡七宗町上麻生地内の白川導水路沈砂池敷地内で起工式を実施しました。式には、国、県、関係土地改良区及び地元関係者の方約60名が出席されました。

主催者を代表し水資源機構中部支社長は、式辞で、安全に留意し、早期に事業効果を目指す述べ、来賓の美濃加茂市長と岐阜県農政部長(代理農地整備課長)は、祝辞で、用水の安定供給に向けたインフラ整備の意義と期待を述べられました。



中部支社長の式辞



出席者で記念撮影



パネル展示に見入る方たち



サツキマス稚魚放流体験学習会を開催しました！

12月2日(金)に地元の長岡小学校、木曾川漁業協同組合及び愛知県との協働により、サツキマス稚魚の放流体験学習会を実施しました。

この体験学習会は、地元小学校の児童を対象に、木曾川漁業協同組合と愛知県が行う水産資源の増殖の取り組みや木曾川の自然環境について学んでもらうとともに、木曾川への親しみを深めてもらうことを目的として、毎年、木曾川大堰の左岸魚道で実施しているもので、今年が13回目になります。

当日は、長岡小学校の全児童(129名)が大堰の魚道の上に架設された橋の上からバケツに入った18センチほどの稚魚を放流しました。

放流した稚魚は、木曾川を下り伊勢湾を回遊し800グラムぐらいに育ち、サツキの咲く5月から6月頃に、サツキマスと呼ばれて木曾川に遡上してきます。

児童たちは、ふだんできない体験に大喜びの様子で、小さいのちの旅立ちを見送っていました。



天候に恵まれ今年も開催



稚魚を放流する児童たち

稲沢市立長岡小学校で出前授業を実施

11月22日、稲沢市立長岡小学校4年生の児童を対象に出前授業を行いました。

授業では、水資源についてクイズ形式で学んだり、用水路の仕組みやはたらきについて学びました。

職員にとっては普段何気なく触れている水のはたらきについて、専門的な内容と言葉をわかりやすい言葉に置き換えて、児童たちに伝えることを心掛けました。

このことは、自分たちの専門とは異なる分野の人に対し、いかにわかりやすく伝えるかといったコミュニケーション能力の向上に繋がり、これからの仕事にも大いに活かされます。

また、人前で話すためには普段の業務についてより深く知る必要があります。働く意義や目的を見つめ直す良い機会になっています。



今後も、この活動を通して、地域に貢献していきます。



油流出を想定した水質事故対応講習会を開催

11月16日（金）、利水者の方も参加し油流出を想定した水質事故対応の講習会を開催しました。

講習会は、水の流れや油の性質を考慮した適切な油吸着資機材の配置について水路等で実地説明があり、油処理剤の適正な使用方法とその効果など、実際に水質事故が発生したときに活用できる実践的なものでした。

重油、灯油、軽油、ガソリン及びサラダ油の5種の油を色と匂いで判断する講習では、その見極めが難しく、受講者は真剣に取り組んでいました。

木曾川用水では、今後も水質事故対応に備え、訓練や講習会を定期的実施し、水質事故に関する知識と技術の維持・向上に取り組んでいきます。



弥富揚水機場の緊急排水訓練

11月20（日）、長島町土地改良区の給水栓一斉清掃に合わせ、弥富揚水機場の農業用水ポンプを終日停止させ、「緊急排水訓練」を実施しました。

弥富管理所では、ポンプを長時間停止できるこの機会に、毎年訓練を実施しています。

大規模地震などで木曾川水管橋やサージタンクなどが被災した場合を想定し、パイプやタンク内の水を緊急かつ安全に排水して、被害の拡大を防止するとともに、復旧作業を容易にするためのものであり、危機管理上とても重要な訓練です。

訓練では、一つ一つ操作手順を確認し、緊急時に備えました。



◇人事異動

お世話になりました。【11月1日付け転出者】 電気通信課 武石 啓祐(霞ヶ浦用水管理所)

よろしく申し上げます。【 " 転入者】 " 大西 章仁(利根川下流総合管理所)

お知らせ

明けましておめでとうございます。本年も本誌が皆さま方にご愛読いただけますよう努力して参りますとともに、読者の皆さまにとりまして良き年となりますように祈念しています。

本年も引き続き皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せ下さい。また、施設見学をしてみませんか。事業の説明にも伺います。希望される方はお気軽に連絡して下さい。